心聖会 広報誌
広報こいけ

発　　行：社会福祉法人　心聖会
　　　　　広報委員会
発行責任者：吉村　優児
URL http://www.e-shinseikai.or.jp/

（法人事務局）
〒276-0001
千葉県八千代市小池３９３
TEL 047(488)8222　FAX 047(488)8229

経　営　理　念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

・障害のある人の人格と個性を尊重します。
・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。

新春

新年のご挨拶

理事長　白鳥　征四朗

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中におきましては皆様から多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、「新しい生活様式」についても見直され、感染症への基本的対策は個人及び事業者の判断ということになりました。判断に当たっては、いくつかの観点が示されております。その中に「人付き合い・コミュニケーションとの兼ね合いを考慮する」が挙げられた点には、特に共感したところでございます。状況に応じた対策を立てながらも大事にしていきたいものです。

法人運営では、引き続き、ご利用者の重度・高齢化が年々に顕著になっている状況でございますので、支援の専門性の向上と、併せて施設の一部増築等を視野に入れた対策を講じてまいります。また安定的な業務継続に向けた取り組みでは、非常用自家発電機の整備事業を段階的に進められるよう計画しております。ご利用者の皆様が安心して暮らせ、ご利用していただけますように、更にはますます未来が拓けていく期待感を感じていただけますよう努めてまいります。

末筆ながら、本年が皆様におかれましては健やかで幸多き年でありますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年の抱負

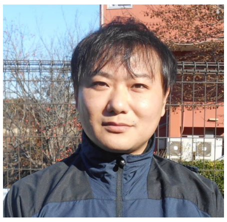
心聖会の未来を担う職員編

小池更生園　佐久間 悠

謹んで新年のお喜びを申し上げます。新年を迎えるにあたり、日頃よりご理解とご支援を賜り改めて心よりお礼申し上げます。

今年度から新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、ご利用者の生活面や作業面で以前のような日常を取り戻そうとしています。なかでも外出やバザーといったイベントへの参加です。班外出で水族館などに外出する機会やバザー活動に参加する等、行動制限なく行えるようになってきました。普段、できない体験や飲食等をご利用者が心の底から楽しまれ、笑顔溢れる時間が徐々に戻ってきました。今後も外での活動を積極的に取り入れ、ご利用者が楽しく、笑顔が絶えない日々を過ごせるよう、職員一同、日々精進して参ります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

作山更生園　高橋 聖貴



謹んで初春のお喜びを申し上げます。日頃より、ご利用者の方々やご家族、そして地域や関係機関の皆様には、ご理解と暖かい支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

行動制限が緩和された昨年は、ご利用者との外出が可能となり、バザー等の活動にも積極的に参加することができました。ご家族との交流イベントも再開し、ご利用者・ご家族ともに特別な時間を過ごされています。本年も、催し物等を通じて、こうした楽しさと安心を提供できるよう、努力して参ります。

作山更生園では作業活動の3つの柱「共創・進化・尊重」を重点項目としています。本年は「進化」を意識し、新しい活動に積極的に取り組むほか、職員一同がそれぞれの目標に向かって努力することを目指します。引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

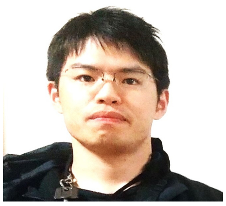
こいけ障害者支援センター　稲付 裕貴

今年の4月で心聖会に入職して11年が経ちます。これも、心聖会を利用するご利用者の方々、心聖会で働く職員の方々に支えられて今の私がいるのだと思います。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

私の新年の目標は「チームワークを大切にする」ことです。ご利用者との日々の関わりの中から些細な気付きを大切にして、チームでの情報共有を徹底していきたいと思います。また、ご利用者に寄り添った支援を目指し、小学校清掃や地域清掃など様々な活動に挑戦できる場を提供して、地域交流と社会参加を目指します。

チームリーダーとしてはまだまだ頼りないですが、ご利用者や職員との日々の関りを大切にしながら、思ったことを言い合える関係性を目指します。そして、チーム一丸となりご利用者が社会で活躍できるようにサポートしていきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

こいけホーム　飯塚 直樹



新年あけましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、日頃より「共同生活援助事業所こいけホーム」に対してご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。さて私事ではございますが、こいけホームに着任してまもなく5年が経ちます。これまで「ご利用者の笑顔のため」と、生活の支援や福祉に関する知識の修得に励んで参りました。しかし、日々変化するご利用者の状況、次々に求められる様々な知識・・・そんな中、ご利用者から向けられる感謝、笑顔、労いの言葉は有難いものです。自分の仕事の意味、意義を思い起こすことができます。そして、これこそが私がこの仕事に夢中になる理由。ご利用者を幸せにする立場の私が、逆に、ご利用者に幸せにされているのです!

私は福祉の仕事を自分の天職と感じています。これからもご利用者のため、ご家族のため、粉骨砕身の思いで望んで参ります。

小池更生園便り

多彩な催しに笑顔

こいけ冬の食事会

12月16日（土）に、年末イベント「こいけ冬の食事会」を行いました。今年1年間頑張ったことを労う忘年会のような雰囲気を楽しんで頂けるように、職員一同で準備を行いました。

今年度の「こいけ冬の食事会」では、秋に開催しました食事会に続き、ご家族を小池更生園にお招きしての開催となりました。

近年もコロナウイルスの影響により、なかなかご家族をご招待できないことが続いていた為、ご利用者も久しぶりにご家族と1年の労をねぎらうことができ、笑顔が多く見られていました。

「こいけ冬の食事会」では、会食の他に、三つのイベントをご用意しました。一つ目がお菓子すくいです。ご利用者の方に人気のあるお菓子をたくさんご用意したので、大盛況でした。二つ目は、園内の一室で、ご利用者の生活や作業、外出等の様子を収めた写真や、作業で制作した作品の展示を行いました。また、ご利用者と共に製作している「小池みそ」や「ドリップパックコーヒー」、「イラストステッカー」の販売を合わせて行いました。三つ目は、こいけ音楽クラブとして活動しているご利用者によるイベントです。この日のために準備したダンスを披露して頂き、会場は盛り上がりました。

今後もご利用者に楽しんでいただける催し物ができるよう職員一同、力を合わせて頑張っていきます。

原点回帰

フォローアップ研修

小池更生園　伊藤 聡真

令和5年12月17日、入職半年から2年目の職員が対象になる所内研修を受講しました。今回の研修では、障害支援区分認定をはじめ、各種手帳、障害者年金、施設の利用料等の具体的なことを学びました。

2年程前に入職し、実務経験を積んだことにより、すでに知っている内容等もありましたが、初心に戻り学ばせていただくことでより良い支援ができるのではないかと考えます。

普段仕事をしていく中で、疑問に思ったことなどがありましたが、今回の研修で結びついたことが多くありました。危険予測に関してのグループワークでは、真剣に議題に対して何故そうなっているのか、危険予測等お互いに意見を出し考える時間があり、職員の支援の質の向上につながったと感じます。

今回の研修で学んだことを忘れず日々の業務に励み、生活支援員の一人として「ご利用者の幸せに」尽くしていきたいと感じます。

小春日和の一日

室内3班外出

令和5年11月24日に室内3班のご利用者6名、支援員6名で作業班外出を行ないました。当日は天候にも恵まれ、暖かい気温の中、千葉県立北総花の丘公園に向かいました。

千葉ニュータウン地区にあるこの公園は、敷地面積が広く、道路を隔て5つのゾーンに分かれています。今回は最も自然色豊かな「緑の景ゾーン」でピクニックを行いました。一面に広がる芝生の上にレジャーシートを広げ、お弁当やおやつを食べました。青空の下、普段より少し豪華な昼食に嬉しそうなご様子が見られました。お弁当、おやつを食べ終わった後は、公園内に咲いている木々や花を見てまわりました。

作山更生園便り

年末お楽しみ会開催！

12月16日、作山更生園ではご家族をご招待しての『年末お楽しみ会』を開催することが出来ました。『年末お楽しみ会』とは、一年の締めくくりとして、ご利用者の皆さまとそのご家族の方に、楽しい時間を過ごしていただきたいという願いが込められたイベントです。今年度は『マジックショー』と『ハズレなし！くじ引き大会』といった催しを交えながら、お食事と交流を楽しんでいただこうと企画しました。

食堂で記念撮影！

マジックショーでは、マジシャンの軽快なトークに会場は大盛りあがり！次々に繰り出すマジックに、皆さま驚きを隠せないご様子でした。

ドキドキのくじ引き大会！

昼食を挟んだ午後もイベントは続きます。職員主催の『ハズレなし！くじ引き大会』では、名司会により会場は大盛況となりました。ドキドキしながら自分のくじを開き、嬉しそうに景品を受け取るご利用者さんのお姿を見ることができました。

お寒い中、足を運んでくださったご家族の皆様、八千代市のボランティアの皆様、一丸となって準備をした職員たちと、全力で楽しんで下さったご利用者の皆様のおかげで『年末お楽しみ会』は大成功を収めることが出来ました。

来年度も、より楽しいイベントを企画できるよう、職員一同努めてまいります。

日帰り旅行のご報告

11月22日、約4年ぶりとなる日帰り旅行が開催されました。

今回の旅行のメインとなったのは、東京湾のクルーズ船シンフォニー号でのランチクルージングです。船内には和洋中の料理がずらりと並び、ご利用者そしてご家族ともにバイキングを楽しまれているご様子でした。

またデッキ上では真っ青な空と海風がとても心地よく、景色を楽しまれるご利用者のお姿をたくさん見ることができました。

クルーズのあとには東京タワーでのお土産タイムを挟んでの帰園となりました。ご利用者そしてご家族ともに無事旅行を終えることができ、とても充実した一日となりました。

快晴の東京湾！

市長賞受賞！

市長賞おめでとうございます！

12月、障害者週間に開催された八千代市身体福祉協会主催の「とっておきの作品展」。作山更生園では、すずのね班の川上和子さんの作品「赤い鳥」が市長賞受賞となりました。

色彩を大胆に使い、雪の中でも情熱を持って力強く羽ばたく鳥を描いた作品です。12月6日の表彰式に参加された川上和子さんは、少し緊張した面持ちでしたが、受賞した感想を尋ねると「良かったと思います」「楽しかったです」と満面の笑みでお話しされていました。

来年度も、こうした創作活動を支えられるよう、職員一同、努力してまいります。

こいけ障害者支援センター便り

もう一歩！

当事業所でアート活動を開始してから5年が経ちました。当初は何をすればよいか右も左も分かりませんでしたが、今では多くの展示会に参加・見学させていただいており、社会参加の一翼を担う大切な活動になっています。それでは、活動の一部をご紹介いたします。

　ふなばしメグスパのご厚意で、11月中旬から1か月間、20点程の絵画や書道の作品を壁一面に展示させていただけました。作品を通して、来館者の方々に当事業所の活動を知っていただける良い機会になりました。

壁一面に展示された作品

　11月30日、とっておきの作品展ワークショップでは、展覧会に出展する作品作りを、慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科、うみのもり・こまちだたまお氏、オーエンス八千代市民ギャラリーの皆様と一緒に行いました。学生の方々はエネルギーに満ち溢れており、ご利用者も良い刺激をもらうことができました。

学生から作り方を教わる参加者

　12月5日、さわやか芸能発表会・展示発表の部に参加させていただきました。参加6団体のなか「銀賞」を受賞することができました。職員は喜んでいましたが、「惜しかったね。もう一歩だったね」と、おっしゃるご利用者もいました。向上心のある言葉だと関心しつつ「目指せ金賞！」を目標に掲げ、1年後のさわ芸に挑みます。

惜しくも銀賞

　今回記事にした活動の他にも、様々な外部の展覧会に応募しています。ご利用者の制作意欲の向上に繋がり、もう一歩上の活動になるよう、アート活動に取り組んでいきます。

こいけホーム

ゆっくり一日バスの旅

11月3日、壱番館・弐番館の垣根を超えて、じっくりと親睦を深めるべく、日帰りのバス旅行に出掛けました。

「ドライブがしたい！」「皆で一緒にバスに乗りたい！」「海が見たい！」「海鮮丼が食べたい♪」といったご希望を叶えるべく向かった先は（離島・山頂を除き）日本一早く初日の出が望める場所、銚子。数年ぶりのこいけホーム全体での旅行とあり、道中は大変な賑わいに。車内ではイントロ当てクイズやシルエットクイズ等のゲームを行い、皆さん次々と正解を言い当て、大変な盛り上がりとなりました。

絶景の宿での昼食

二つの「道の駅」を経由しながら、遂に銚子へ到着。昼食会場となる『絶景の宿犬吠埼ホテル』では、大勢のホテルスタッフの方が出迎えて下さいました。VIP待遇のおもてなしにテンションが上がります。一番人気の天丼を初め、美しく盛り付けられたご馳走はどれも絶品！楽しい時間はあっという間に過ぎ「来年もまた行きたいね」「次は温泉も入りたい」「泊りたい」と笑顔溢れる一日となりました。

法人だより

くやしさをバネに

作山更生園　花井　太基

11月20日に開催された「職員交流バレーボール大会・県大会」に出場しました。同大会の東葛地区予選大会にて私たち心聖会は準優勝となり、晴れて県大会に出場する機会を得ることができました。

　バレーボール部入部当初は、他の事業所の方々とお会いするのも初めてで、緊張を感じることもありました。しかし、先輩方の優しさに触れながら、身体を動かすことの楽しさ、少しづつ技術が上がっていくことへの喜びを感じるようになり、県大会にも勝利へのモチベーションを高めての出場となりました。

そして、迎えた県大会当日。緊張が最高潮に達した私は、思い通りに実力を発揮することができませんでした。また、チームも一回戦で敗退し、くやしさが残る結果となりました。これからもこのくやしさをバネに、普段の業務でも試合でも、成長を続けていきたいと思います。

公式ラインを開設

友達募集中！

小池更生園の公式ラインを開設しました。まだまだ手探りですが、今後は「小池みそ」や「自家焙煎コーヒー」「ステッカー」などのお知らせを発信していく予定です。また、公式ラインからの販売受付も可能にできるようにしていきたいと思いますので乞うご期待ください。

下記のQRコードからお友達登録ができますのでこの機会にぜひ、友達追加をお願いします。

お気に入りスタンプを見つけよう！

　ご利用者の描いたイラストと文字を使ってラインスタンプの販売も始めました。題して「小池更生園ごきげんスタンプ」です。第一弾は汎用性の高い普段使いができるスタンプになっています。ご利用者が描いた個性豊かなスタンプの中から、自身のお気に入りスタンプを見つけてみて下さい！

下記のQRコードを読み取ると購入ができますので、宜しくお願いします。

寄付のお礼

- 岩間家具産業　様
- 大久保　富江　様
- 千葉三者の会　様
- タイヨー　様

バザー販売のお知らせ

手をつなぐ作品展

- 日程　2月26・27・28日
- 場所　八千代緑ヶ丘イオン

編集後記

自宅で猫を飼っています。飼っている？いえ、なんだかこの表現ではしっくりきません。「猫と一緒に暮らしています。」この言い方が正解な気がします。

先日私がひどい腹痛に襲われ寝込んでいた時、お腹の上で丸まり、腹部を温めてくれました。猫としては、ただ暖を取るためにそこに居ただけなのかもしれませんし、愛情表現、といった類のものではないのかもしれません。でもきっと、嫌いな存在の傍には居ませんよね。事実としては『猫がお腹に乗っていた』というだけですが、受け止める側の感性によって心の通った出来事となり、大切な思い出へと変化していきます。

　福祉職を志望した当初、自分に務まるのだろうかという思いがとても強かったことを覚えています。しかし今では、日々の変化に心地良い刺激を受けることが出来ています。ご利用者の皆様も、その時々によって様々な思いを抱えていることでしょう。心の通った支援を通じ、充実した一年が過ごせるよう努めて参ります。